

- (1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

施設がどれも綺麗で、設備も整っているという第一印象が強く、同志社女子大学を志望する決め手となりました。また、私は食品について研究したかったの、食物科学専攻をその夢を実現できると思っただからです。

- (2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]を1度過去問を解いてみて自分の力量を知ります。当然私もこの時は全く解けなかったのに入試問題の難しさを身に感じました。それから基本の単語や漢字を勉強していきまし。英語は文法からではなく、単語や熟語から始めます。私は1日20単語ずつ覚えさせてもらいました。頻出度別に単語が並べられている参考書を有効活用するよ、です。国語は短編小説をたくさん読み、読解力を読むスピードを身につけました。

[夏休み]英語の文法は参考書を最初から順にやるのではなく、気に入った単元から勉強しました。私の場合は「仮定法→助動詞→不定詞…」と進んでいきました。わからない箇所はすぐに先生に尋ねます。生物は生物基礎からざっくりと内容を振り返ります。これに代わり、私が大専なので、私は2コマをレポートに見取り、わかりやすくまとめました。生物や英語は一つの単元が終わる度にその単元が使われている部分の過去問を解きました。現代文は似たような過去問、古典は問題はまですぐに、時代背景や身なを覚えるところから始めました。

[2学期～入試直前]どの科目も似たような過去問を解きました。間違えても満点をとれるまで何度もやるこれがポイントです。また、入試と同じ時間内で問題を解く練習もしました。全ての科目において、試験が始まるとすぐに問題をざっと見て、どの問題から取りかかるべきかを瞬時に判断することが大事です。私は特に生物の計算問題が苦手だったので参考書を活用して先生に尋ねたりして徹底的に勉強しました。塾では先生が立てたプランではなく、自分でプランを提案し、勉強したい内容や詳しく解説してほしい部分を先生に伝えるのが大事です。入試でわからない問題があることを時間切れになるまでには絶対に避けたいの、その対策をしっかりと立ておくことが合格への鍵になると思います。

- (3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

スマートフォンは電車の中、学校の休み時間、寝る前の10分間というルールを作り、学校では授業、家では受験勉強に専念しました。私は通学時間が長かったの、その間に休み家に帰ったら勉強というオン・オフをばっちり分けていました。スランプの時は「今日は一日何もしない」という日を決めてゆくり心を休めました。そうすると次の日はしっかりと気持ちの切り替えができて、勉強への意欲が戻りました。受験の一年間はとにかくだらだら過ごさないように1日のルーティンを決め、何時から何時まで勉強といったルールを自分に課し、日々繰り返すことが大事です。

- (4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験の一年間は精神的に辛いです。今日も勉強、明日も勉強と考えるたびにぐちゃぐちゃになります。でも、一番最初にやった解けなかった問題が解けるようになった日には言い表しようにない嬉しさや胸に込み上げられます。それはきっとあなたのこれからの勉強の支えになるはずです。受験勉強、がんばってください。